

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-539252(P2008-539252A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-509071(P2008-509071)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/21

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 471/04 1 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのIRM部分及び少なくとも2つの抗原ペプチドを含み、そのうちの少なくとも1つの抗原ペプチドが前記IRM部分と共有結合する、少なくとも部分的に精製された抗原凝集体を含む、免疫活性化組成物。

【請求項2】

前記凝集体が実質的に均質なペプチド集団を含む、請求項1に記載の免疫活性化組成物。

【請求項3】

前記凝集体が少なくとも2つの異なるペプチドを含む、請求項1に記載の免疫活性化組成物。

【請求項4】

少なくとも2つの異なるIRM/抗原複合体を含み、ここで、第1のIRM/抗原複合体はIRM部分に共有結合する第1の抗原ペプチドを含み、第2のIRM/抗原複合体はIRM部分に共有結合する第2の抗原ペプチドを含む、請求項3に記載の免疫活性化組成物。

【請求項5】

少なくとも1つの抗原ペプチドがウイルス抗原の抗原部分の少なくとも一部である、請求項1~4のいずれか1項に記載の免疫活性化組成物。

【請求項6】

前記ウイルス抗原がHIV抗原である、請求項5に記載の免疫活性化組成物。

【請求項7】

前記HIV抗原がGag41の抗原部分の少なくとも一部である、請求項6に記載の免疫活性化組成物。

【請求項8】

抗原ペプチドに共有結合する少なくとも1つのIRM部分を含む部分的に精製されたモノマーIRM/抗原複合体をさらに含む、請求項1~7のいずれか1項に記載の免疫活性化組成物。